

孤立型集落緊急防災対策

1 趣旨

我が国は、地形が急峻で狭隘であることに加え、気象条件等から山地災害が発生しやすく、特に農山漁村集落は都市部に比較して孤立しやすい環境にある。

平成16年の新潟県中越地震や台風23号に伴う集中豪雨により、新潟県古志郡山古志村（現長岡市）や福井県足羽郡美山町等では、山地災害により交通が途絶し、集落の孤立が生じるなど大きな社会問題となったところである。

特に、山地災害により交通網が遮断され市町村役場など防災対策上重要な施設が孤立するおそれのある地域では、孤立化により人的被害の拡大や救助援助活動が困難になることが予想されることから、これらの地域等において孤立防止や集落の安全確保を図るため、重点的に治山対策を実施する。

2 事業の内容

- (1) 内閣府が実施する「中山間地域の集落散在地域における孤立集落発生の可能性に関する状況調査」を活用し、山地災害により市町村役場など防災対策上重要な施設が孤立するおそれのある地域を抽出
- (2) 上記(1)で抽出された孤立化するおそれのある地域に所在する山地災害危険地区等において、避難路等の保全を図るための治山施設や山地災害情報システム等を重点的に整備し、地域の防災力の向上を図る。